別表

一　占用料

占用区分	単位	金額
海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に係る海域の利用の促進に関する法律第二条第二項に規定する海洋再生可能エネルギー発電設備（ケーブル等を除く。）	占用面積一平方メートルにつき一年	一月以上　三十円 一月未満　三十三円
その他ケーブル等	長さ一メートルにつき一年	

備考

1　占用面積若しくは長さが〇・〇一平方メートル未満若しくは〇・〇一メートル未満であるとき、又は占用面積若しくは長さに〇・〇一平方メートル未満若しくは〇・〇一メートル未満の端数があるときは、その全面積若しくは全長又はその端数の面積若しくは長さを切り捨てて計算するものとする。

2　占用の期間が一月以上の場合、その期間が一年未満であるとき又はその期間に一年未満の端数があるときは月割をもって計算し、なお一月未満の端数があるときはこれを一月として計算するものとする。

二　土砂採取料

採取物区分	単位	金額
土砂　客土用又は盛土用土砂で砂利の入らないもの	一立方メートルにつき	百五十四円
砂　直径〇・五センチメートル未満のもの		百八十七円
切込砂利　直径〇・五センチメートル以上八センチメートル未満のもので土砂交じりもの		
砂利　直径〇・五センチメートル以上八センチメートル未満のもので土砂を含まないもの		
栗石　直径八センチメートル以上十五センチメートル未満のもの		二百五十三円
玉石　直径十五センチメートル以上三十センチメートル未満のもの		
転石　直径三十センチメートル以上のもの		千五十六円

備考

採取容積が一立方メートル未満であるとき、又は採取容積に一立方メートル未満の端数があるときは、その全容積又はその端数の容積を一立方メートルとして計算するものとする。

附　則

この告示は、公布の日から施行する。

人事異動

内閣

○内閣総理大臣海外出張

内閣総理大臣石破茂はアメリカ合衆国へ出張のところ九月二十五日帰朝した。

○経済産業大臣臨時代理解職

国務大臣　赤澤　亮正

経済産業大臣武藤容治帰朝につき内閣法第十条の規定による臨時に経済産業大臣の職務を行う国務大臣としての指定を解く

同　赤澤　亮正

内閣府特命担当大臣武藤容治帰朝につき内閣府特命担当大臣（原子力損害賠償・廃炉等支援機構）事務代理を免ずる（以上九月二十五日）

人事院

○人事院総裁職務代行

人事院総裁川本裕子は、九月二十九日から海外に出張したので、その期間中、国家公務員法第十一条第三項の規定により、人事官伊藤かつらが人事院総裁の職務を代行する（九月二十九日）

内閣府　文部科学省

原子力損害賠償・廃炉等支援機構監事に任命する（九月二十六日）　関根　愛子

法務省

（水戸地方検察庁下妻支部検事）

検事　沖　佑里乃

東京地方検察庁検事に配置換する

（東南アジア諸国連合日本政府代表部参事官）外務事務官　伊藤　淳

検事一級（東京地方検察庁検事）に転任させる

（金沢区検察庁副検事）副検事　天山　孝志

辞職を承認する（以上九月二十六日）

叙位・叙勲

○叙位

（一等陸佐）　江戸川祥子

従五位に叙する

伊藤　幹雄　奥村　幹夫

酒井　浩一　小林　和雄

若野　茂生　堀岡　晃　山田　幸雄

正六位に叙する（各通）

石川　守　川井　憲一

久保　幸信　佐々木年彦

（警視庁警部補）竹本　裕　根本　信夫　高橋　禎典

吉山　一宏　渡邉　璋　原田　芳雄

従六位に叙する（各通）　照屋　昌秀

正七位に叙する　成田　伸也

従七位に叙する（以上八月二十一日）

（高エネルギー物理学研究所名誉教授）　山川　達也

従四位に叙する

鐘ケ江管一　瀧　俊弘

従五位に叙する（各通）

伊藤　春樹　後藤　正規　島村　宏

正六位に叙する（各通）

新井　正明　浦　貢　小澤　淳二

加納　新次　川田美佐男　酒井　英憲

神能　力雄　高橋　英一　中村　富次

従六位に叙する（各通）

荒　重徳　佐藤　幸一　花里　直大

吉田　宏　依田　清登

正七位に叙する（各通）

大野　勤　鴨志田亀雄　松本　欣也

従七位に叙する（各通）（以上八月二十二日）

（富山大学名誉教授）　上野　雅晴

正四位に叙する

従五位に叙する（各通）　松尾　裕　三舟　侑司

阿部　琢也　稲田美津子　入倉　豊

正六位に叙する（各通）

大竹　一生　友塚　信行

正六位に叙する（各通）

荒木　文朗　伊藤　友孝

大村　忠　金　勝治　太田　學

鈴木　英二　田村　一哉　菊池　強郎

山室　孝信　中川　春郎

従六位に叙する（各通）

木脇　孝彦　野澤　健　平野　鎭夫

正七位に叙する（各通）

荒谷　英夫　川野　孝史　高梨　幸輔

従七位に叙する（各通）（以上八月二十三日）

従四位に叙する（各通）

（神戸大学名誉教授）　太田　道也

（独）国立高等専門学校機構職員　八木千賀子